

一般質問

(一般質問は2面・3面・7面にも掲載)

教訓を生かした 避難所運営に努めよ



自民・新政 風間 正子

一 地震対策について
熊本地震で課題となった車中泊の避難者や、避難所での高齢者や障害がある人への支援などの対応は重要と考えるがどうか。

答 要配慮者に対し段ボールベッド、ワンタッチ間仕切りや洋式仮設トイレなどの配備を進めており、さらに、避難生活用テントも検討したい。また、地域防災計画を再検証するとともに、総合的な災害危機管理体制の整備を図っていく。

二 市民ボランティアについて
避難所運営には、女性の視点が重要になるため、女性相談員などの割合を増やしてほしい。

要望 地域貢献券の利用拡大は、関係部局を巻き込み検討してほしい。地域介護予防活動支援補助金は、ボランティア活動を活性化する効果が期待されるため、制度の周知を積極的に行ってほしい。



熊本地震の教訓から再検証される地域防災計画

学校施設の環境整備に向けて 十分な予算をつけること



民 政 会 和 田 厚 行

一 学校の整備について
学校教職員から学校施設に関して多くの要望を聞いた。学校現場の意見が踏まえ、改修や修繕を

答 毎年学校の夏休みに、市内すべての幼稚園、小・中学校からの改修や修繕に関する要望に基づき、学校長、教頭、事務職員などのヒアリングや現場確認を行う中で、必要性、緊急性の高い箇所について協議し、予算編成および当該年度の修繕に反映させている。学校

施設の老朽化が進んでいることから、今後も安心・安全を最優先に、学校現場と一体となって学校施設の改修や修繕に努めていきたい。

二 動物愛護行政を進めてほしい。
動物愛護団体などの登録制

要望 動物愛護団体などの登録制

また、学校施設は、災害時には広域避難所として地域の防災拠点の役割を担うことになる点も踏まえ、計画的な改修や早期の修繕などに



緑水クラブ 横溝 泰世

動物虐待解消に向けて 神奈川県との連携強化を

一 動物愛護に向けた対応策について

問 飼い主がいない猫や、不適正な猫の飼育により、市民から多くの苦情や相談が寄せられている問題解決のためにガイドライン策定を提案したが、どのようか。

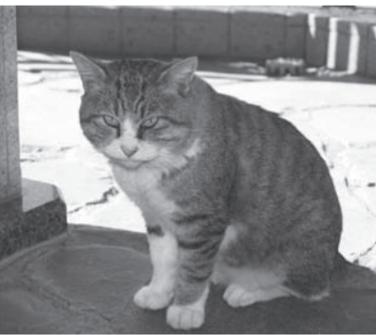
答 現在、問題解決の過程で協力が不可欠な秦野市獣医師会や動物愛護団体などの意見も取り入れた猫の適正飼育ガイドラインの最終案を取りまとめている。

二 空き家対策の現状と今後について
「住宅等使用状況調査」の中で、空き家所有者における有効活用

要望 動物愛護団体などの登録制

また、学校施設は、災害時には広域避難所として地域の防災拠点の役割を担うことになる点も踏まえ、計画的な改修や早期の修繕などに

対応して、安心・安全な施設の維持管理に努めたい。



猫の適正飼育のためのガイドラインを策定中



創 奏 ク ラ ブ 谷 和 雄

西公民館の施設改善と 周辺の安全対策に努めよ

一 公共施設の防災対策について

問 上地区および西地区における避難所施設の耐震化の観点から、特に平成32年度までに完成予定の西中学校体育館と西公民館の複合施設を1日も早く建設してほしいが、今後の見通しはどのようか。

答 消防署西分署の整備スケジュールを見据えつつ、できる限り早期の整備に取り組む。

二 空き家対策の現状と今後について
「住宅等使用状況調査」の中で、空き家所有者における有効活用

要望 西中学校体育館周辺道路の安全対策と西公民館の洋式トイレ

また、学校施設は、災害時には広域避難所として地域の防災拠点の役割を担うことになる点も踏まえ、計画的な改修や早期の修繕などに

対応して、安心・安全な施設の維持管理に努めたい。



公 明 党 野 田 毅

放課後児童ホームの運営と人材確保のために 所管を教育委員会に移管せよ

一 充実した学童保育について

問 本市の公立放課後児童ホームの現状と課題はどのようか。

答 平成28年4月1日時点で27室あり、登録児童数は1155人、

二 観光振興基本計画について
鶴巻温泉と大山を結び、大山

要望 東京都渋谷区のように全児童対応型学童保育を推進してほしい。また、小学校の余裕教室という教育現場を利用する学童保育は

の数の見直しや、浄化槽の災害時マニュアル作成と、上下水道局では新たなBCP策定を進めていく。

問 緊急輸送路の路面下空洞化調査は災害対策として極めて重要であるが、実施の計画はどのようか。



秦野サービスエリア(仮称)イメージ図

要望 チャンスを逃さぬよう、さまざまな施策を講じてほしい。

三 新東名高速道路建設に伴う排水対策について
排水計画では、菖蒲地区および八沢地区の河川に流れ込む水量はこれまでより増加すると考え

答 調整池を作るなど流れ出す水量を調整し、対応していく。

の登山客が鶴巻や秦野、渋沢から登り、帰りは鶴巻温泉で入浴する

要望 本市の観光資源の魅力を見極め、観光産業のさらなる発展のため、観光協会と連携し、秦野ブランドプロジェクトや、はだのブランド推進事業による商品開発や地域資源の活用を努めてほしい。

問 犬や猫のふんの苦情が増えているが体制の強化はどのようか。